

るるぶFREE三原・尾道 第3号を発売



▲夜楽しめる店や場所を特集したるるぶFREE三原・尾道第3号

市は無料の観光情報誌「るるぶFREE三原・尾道15・16秋冬号」の配布を始めました。県内を中心に、中国・関西地方の一部サービスエリア、中国地方の道の駅などで配布し、市の情報発信と観光客の誘致を図ります。

発行した第3号は、全ページカラーのA B版32ページ。「三原・尾道の夜」と題し、夜にお勧めの飲食店、イルミネーションや夜景が楽しめる場所などを紹介しています。紅葉スポットと多彩なタコ料理の特集も掲載しています。

情報誌は、観光ガイド誌大手のるるぶ編集部に制作を依頼し、尾道市と協力して刊行しています。隣接する尾道市と、三原市を一体のエリアとして観光情報を発信し、県内外から観光客誘致を促進していきます。

市内では、市役所やうきしろロビー、道の駅などで配付していますので、観

光案内などに活用してください。

観光課

☎0848・67・6015

西部工業団地で高砂香料工業の新工場が竣工

県営三原西部工業団地の惣定地区（沼田西町惣定）に高砂香料工業株式会社の新工場が完成し、先月21日に竣工式が行なわれました。式には広島県の高垣広徳副知事、天満祥典市長、梅本秀明市議会議長らが出席し、新工場の完成を祝いました。

同社は、食品や香水などに使用される香料の生産で国内最大手。自然災害が少なく、陸・海・空の交通の利便性を理由に、本市への立地を決めました。

三原工場は、同社初となる西日本地



▲高砂香料工業の三原工場では食品香料が生産される

被災地への派遣職員が従事する 集団移転事業が概ね完了

危機管理課

☎0848・67・6066

市では、平成24年度から東日本大震災で被災した宮城県名取市に毎年2人の職員を派遣し、被災地域の復興と住民の生活再建を支援しています。

先月4日、職員が派遣先で従事している同市下増田地区から美田園北地区への約160戸の集団移転が概ね完了し、まち開きが盛大に行なわれました。地元中学生による吹奏楽演奏、マグロ刺身のふるまいなどが行なわれ、約300人の住民などが新しいまちの門出を祝いました。



▲まち開きを祝う式典のようす

名取市では平成23年3月に発生した東日本大震災で、900人以上が亡くなりました。特に、沿岸部の下増田・^{ゆりあげ}閑上の両地区は津波によって甚大な被害を受け、多くの方が命や住まいを失いました。

市の職員は被害が大きかった下増田地区からの集団移転、閑上地区の地区画整理などの事業に従事し、復興をめざして尽力しています。

市は今後も、被災地の復興を支援していきます。



▲集団移転による新たに誕生した美田園地区の団地

域の生産拠点で、食品香料（フレーバー）の主力拠点として、安定した供給体制を維持する上で重要な役割を担います。

敷地面積は約5万㎡で、主要施設である製造棟は鉄骨造の4階建てで、延床面積1万2,000㎡。安全性に配慮したほか、自動調合機など最新の製造設備を導入しました。生産開始時は約

100人を雇用し、年間約3,000トンの生産を見込んでいます。市では、今後も積極的に企業誘致を進め、地域経済の活性化に取り組んでいきます。

商工振興課

☎0848・67・6013